

# 目次

JAPANESE JOURNAL OF MOUNTAIN MEDICINE

巻頭言	夏井正明	
第17回一般社団法人日本登山医学会功労賞および奨励賞の選考結果について	小野寺 昇	
シンポジウムⅠ：日本登山医学会が担う役割 認定山岳医委員会が担う社会的役割	上小牧憲寛	1
ファーストエイドは登山技術の一部です！	大城和恵	4
山岳診療所の役割と現状	臼杵尚志	8
シンポジウムⅡ：登山者の安全を支える 高所トレッカーの健康診断システムの40年	黒川 恵	13
山で役立つ栄養学	石田良恵	17
原著： 雪洞滞在時の男女におけるストレス生理指標の比較 小野寺昇，林聡太郎，斎藤辰哉，和田拓真，村田めぐみ，荒金圭太， 高原皓全，野瀬由佳，山口英峰，吉岡 哲，松本 希，西村一樹， 西村正広，白 優覧，吉岡広孝，寺脇史子，油井直子		20
夏季登山時の往路における山行の違いが復路の口渇感および水分摂取量に及ぼす影響 一歩行とロープウェイの比較—	西村一樹，高木祐介，野瀬由佳，坂井 学，小野寺昇	27
登山による一過性の運動負荷が心拍数，心臓自律神経系調節および夜間睡眠の質に 及ぼす影響	関 和俊，高木祐介，斎藤辰哉，小野寺昇	34
Influence of Ginger Extract on Body Temperatures at High Altitude Tomohiro Kaji, Yasuhiro Hamada, Hajime Nakaya, Taeka Yamaki, Hisashi Usuki		40
The Protective Effects of Slow Downstairs Walking Against Delayed onset Muscle Soreness after Mountain Climbing	Masahiko Wakasa, Kyoji Okada, Akira Saito	46
The Effect of Exercise Stress on Respiratory Functions in Individuals with Past Medical Histories of Bronchial Asthma During Simulation Ascending the Low Altitude Mountain Yusuke Takagi, Masayoshi Yamamoto, Dai Okushima, Sho Onodera		52

登山歩行の解剖学・力学的分析—ストック使用による質的転換—	粕谷志郎	57
六甲山縦走における集団行動測定実験の特徴について	青山千彰	67
北アルプス縦走の数日前に標高約 1,500 m に 1～2 泊することが縦走中の高所順応に与える影響について、夜間睡眠中経皮的動脈血酸素飽和度および脈拍数を指標として	岩澤雪乃, 原田智紀, 八嶋嘉之, 平林幸生, 相澤 信	76
上段のステップに傾斜のある段差の下り動作における上段支持脚の筋活動と関節運動の検討	藤堂庫治	85
ユースクライマーの手指筋群の筋力・筋持久力特性：リードクライミングを対象として	西谷善子, 川原 貴, 山本正嘉	91
日本で経験しうる高所および準高所での安静時, 運動時, 睡眠時の生理応答—常圧低酸素環境下でのシミュレーションを用いた検討—	森 寿仁, 山本正嘉	99
低酸素環境に対する適性と行動適応能力を判別するための常圧低酸素室を用いた「高所テスト」の開発	安藤真由子, 安藤隼人, 宮崎喜美乃, 山本正嘉	107
70, 75, 80 歳でエベレスト登頂に成功した三浦雄一郎氏の体力特性	山本正嘉, 安藤真由子, 三浦豪太	116
資料 :		
夏山診療所における医師—看護師業務役割についての認識に関する比較研究	立石愛美, 山内豊明	126
昭和大学白馬診療所における平成 25 年度の活動報告と平成 3 年度調査報告との比較について	望月健一, 蜂矢るみ, 小川良雄, 三輪裕介	132

事務局連絡

編集後記